

(仮称) 宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト 宮前区らしいしくみ「ラウンドテーブル」をお試し実施しよう！

テーブル

1

公園×マルシェで「拡大まちかどシェア」

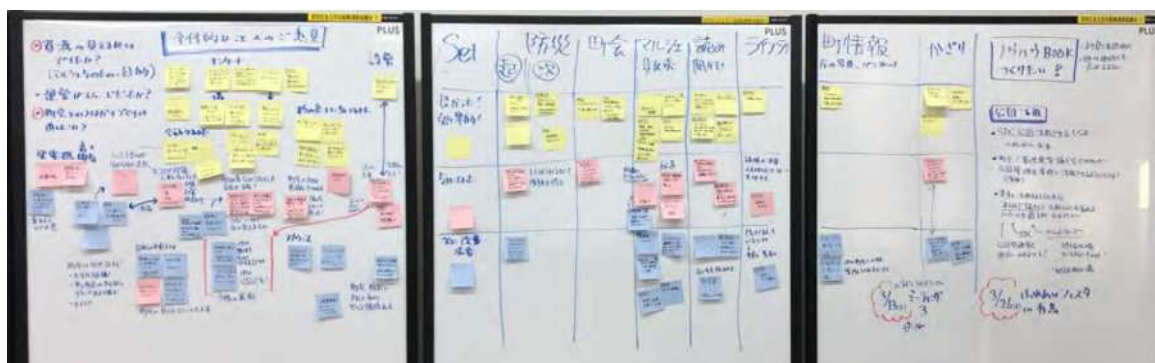
ミーティング2-2

日 時：令和3年12月22日（水）13：00～15：20

場 所：宮前区役所4階 第2会議室

ミーティングの目的

- ・ ソーシャルデザインセンター構築に向けた検証の一環として、2021年12月5日の公園マルシェの振り返りを行う



▲2021年12月5日（日）開催の公園マルシェを振り返り、良かったことや改善できることなどを出し合いました

(1) 12月5日 公園マルシェの振り返り

振り返り | まとめ

エリア	良かったこと	気になったこと	次回改善できること
全体： マルシェの 効果	●立ち話など知らない人との会話や交流が生まれた ●アンケートが交流のきっかけになって楽しかった ●アンケートに参加してもらうためには温かい飲み物が効果的だった ●まちの良さに気づけた ●様々な世代や人が参加でき、楽しめていた	■飲食関係が景品以外はなかったこと	—
全体： 町内会と つながる・ 町内会を 知る	●他の町内会にもこの取組の様子をみてもらうことができた	■町会との関わり方やイベントの目的が参加者に伝わったかが気になる ■参加者の町会に対する意識が少ないことが分かった	▶目的の共有が大切 ▶町内会が区民の活動をサポートできると良い ▶別町会との交流コーナー（情報コーナー）があると良い
全体： 参加者への 案内や 事前周知	—	■公園の中に入って良いのがわからなかった ■イベントについて知らなかった [出店者]	▶のぼり旗のような目印を設置する ▶入り口で声かけする人を配置する ▶会場内でアナウンスがあると良い ▶チラシをまちなかでもっと目にする機会があると参加者も増えて良い [出店者]
全体： 運営体制・ 運営側の つながり	●運営側として企画に関わると良いと思った人が多い印象を受けた	■関わっていた人の所属などが分からず、横の交流ができなくてもったいなかった ■運営を統括していた辻さん・浅野さんが大変そうだった ■終了時間が明確ではなかった	▶関係者同士の横のつながりを促すため、事前顔合わせや見える化できると良い ▶関係者間で運営作業を共有して、運営の負担を分散できると良い ▶公園管理者も事前ミーティングに関われると良い ▶今後の展開：他の公園でも展開し他団体も参加できる仕組みがあると良い
全体： 規模	●公園の規模がちょうどよく、場所も駅に近くて参加しやすかった ●開催時間を通じて、参加者数が平均化していたよかった	■コロナ対策の人数が気になった	▶参加者がさらに多い場合はコロナ対策の検討も必要
全体： 設営・ 資機材	●当日の設営や飾り付け作業がスムーズだった ●発電機の音でイベントを	■発電機の音や排気が気になった	▶発電機の利用は最低限にできると良い ▶区役所が関わっていない場合、代替りの人員などが

エリア	良かったこと	気になったこと	次回改善できること
	やっている雰囲気が出た		必要 ▶避難場所など、緊急時などを想定しておくことも大事
防災コーナー	●防災は参加者の関心が高かったテーマだった ●説明を通じて関心が高まり、他地域についても知ることができた ●区役所による防災グッズの配布で、人を呼び込みやすかった	■配布グッズが余ってしまった ■混雑していたときは説明・情報を受けることができなかったのがもったいなかった	▶コーナーで配布していることについて、開催中に周知できると良い
町内会コーナー	●町内会の方々のビブス着用がわかりやすく、安心感につながった ●大人向けの町内会・自治会の情報（ポスター）と子ども向けのマスコットや飾りが交互に飾られていることが効果的だった ●町内会の紹介資料があったことがよかった	■町会長ともっと交流できると良かった	—
マルシェ・販売	●お店番の体験が初めてできた ●出店物の情報も展示されていて、関心を高めることができた ●出店までの流れがスムーズだった [出店者より]	■お店番の間、代わりに説明するのが難しかった ■販売エリアが寒かった ■時間が短く感じた [出店者より]	▶出店者同士がそれぞれのお店について情報を共有し、お店番の連携ができると良い ▶寒さ対策を検討する ▶その地域の参加者層に合わせて出店物を考えられると良い ▶チラシの写真を出店者にも共有し、周知を協力してもらう [出店者より]
読み聞かせ	●読み聞かせは子どもも大人も喜んでいて ●始める前に注目を集める行動が良かった ●クッションシートや広さが良かった	■発電機の音で声が聞こえづらかった ■全体アナウンスは届いていなかった	▶読み聞かせや開始時のアナウンスが聞こえるようにマイクや拡声機を使う ▶読み聞かせ以外の時間に子どもが関われるアクティビティができると良い
まちかどライブラリー	●会場でのライブラリーの位置がよかった	■ライブラリーの使い方が説明なしではわかりづらかった	▶本の循環を生むために、事前に周知して本の持参を呼び掛けられると良い
まちの情報	—	—	▶掲載できる情報の幅が広がると良い ▶別町会との交流コーナー（情報コーナー）があると良い [再掲]
装飾	●ツリーや会場全体の飾り付に子どもが喜んでいて	■ツリーが目立たない場所に置いてあり残念だった	▶ツリーの位置をもっと目立たせる ▶飾りを最後まで子どもと一緒にする

振り返り | 詳細

全体に関すること		
マルシェの 効果	良かったこと	
	●立ち話など知らない人との会話や交流が生まれた ・立ち話で知り合いができた（読み聞かせの時） ・知らない人との会話が生まれた。知り合いになった ・コミュニティ、馴染みの人たちの触れ合いが ●アンケートが交流のきっかけになって楽しかった ・アンケートをとることで話をしたりして交流することが楽しかった ・アンケートフォームが使えて良かったです ・係の人が動き回って声かけするのが良かった ●アンケートに参加してもらうためには温かい飲み物が効果的だった ・アンケートに対して飲み物の配布は良かった。アンパンマンジュースが効果的だった ・景品（飲み物）があって良かった（ないとアンケートは集まらない） ・温かい飲み物があったこと ●まちの良さに気づけた ・まちに親しみが持てた ・まちに住む方々のマナーの良さに気づけた ●様々な世代や人が参加でき、楽しめていた ・子どもが喜んでくれて嬉しい ・世代、分野、地域など、多種多様な人が参加していてよかった ・シニアもいきいき参加する機会が得られた	
	気になったこと	次回改善できること
	■飲食関係が景品以外はなかったこと ・飲食関係がなかった	—
町内会と つながる・ 町内会を 知る	良かったこと	
	●他の町内会にもこの取組の様子をみてもらうことができた ・他の町会の方が熱心な関心を持たれていた ・町内会・自治会の方々にこのようなイベントや様子を見てもらえたことはよかった。見てもらうことが大切	
	気になったこと	次回改善できること
	■町会との関わり方やイベントの目的が参加者に伝わったかが気になる ・開催までの流れが把握できていなかった。町会との連携が目的なのか？ ・町会主催だと伝わったのか？ ・町会との関係はどうなりそうなのか？ ■参加者の町会に対する意識が少ないことが分かった ・町会への帰属意識の無さに気付いた。町会に入っているか否かはどうやってわかるのか、わからない ・町会に協力したいと思った	▶目的の共有が大切 ▶町内会が区民の活動をサポートできると良い ・町内会は町民活動をサポートすることはできないか ▶別町会との交流コーナー（情報コーナー）があると良い ・イベントを主催している町会のエリア内に住んでいない場合、他の町会についても案内を受けられると良い（町会加入や繋がりに貢献）

参加者への案内や事前周知	良かったこと	
	—	
	気になったこと ■公園の中に入って良いのがわからなかった ・外から見ると何をしているかがわからない人がいた。「入っても大丈夫？」という疑問を持つ人が多かったような印象 ■イベントについて知らなかった[出店者] ・まちなかでチラシを目にする機会がなかった	次回改善できること ▶のぼり旗のような目印を設置する ・区公認ののぼり旗を作って飾ったらどうか ▶入り口で声かけする人を配置する ・人を置いて中を説明できる人をつくる ・小さい子ども連れの方は声をかけると割とスムーズに入っていた。それ以外の層は声をかけても歩き去って行ってしまった ▶会場内でアナウンスがあると良い ・「〇〇コーナーがあります」などといったアナウンスが時々あると良い ▶チラシをまちなかでもっと目にする機会があると参加者も増えて良い[出店者] ・スーパーなどにチラシを置いてもらえる ・小児科もお願いすると貼ってもらえることもある
運営体制・運営側のつながり	良かったこと	
	●運営側として企画に関われると良いと思った人が多い印象を受けた ・客として参加するより企画する方が良いと思われる人が多いようだ	
	気になったこと ■関わっていた人の所属などが分からず、横の交流ができなくてもったいなかった ・出店者同士のつながりが事前の打合せや振り返り会などであればよかった。横の交流を深めたい ・各人の所属がもう少しわかるとよかった（区役所の人など）町会長はしっかりと分かった ■運営を統括していた辻さん・浅野さんが大変そうだった ■終了時間が明確ではなかった	次回改善できること ▶関係者同士の横のつながりを促すため、事前顔合わせや見える化できると良い ・それぞれの役割が明確にわかるような横のつながり ・関係者の事前ミーティングができると良い ・腕章やリボンなどで関係者かどうかを見える化できると良い ▶関係者間で運営作業を共有して、運営の負担を分散できると良い ・他の団体も参加できるようにするには準備から当日に向けて、行動計画書のようなものがあると良いのではない ▶公園管理者も事前ミーティングに関われると良い ・公園管理者をまちづくりラウンドテーブルに入ってもらう ▶今後の展開：他の公園でも展開し他団体も参加できる仕組みがあると良い ・各団体が集まる仕組み（今回は既に集まっていた感じ） ・第一公園でも運動会、盆踊りをやるようにして

規模	良かったこと	
	●公園の規模がちょうどよく、場所も駅に近くて参加しやすかった ・規模がちょうど良かった ・公園で遊びたい人も遊ぶことができた ・おちば公園は駅に近くてよかった。ふらっと寄ってくれる人がいた ●開催時間を通じて、参加者数が平均化していてよかった ・時間来場者は割と平均化していて、混まず・空かず良かった	
	気になったこと	次回改善できること
	■コロナ対策の人数が気になった ・人が密 ・消毒できてなかったのでは	▶参加者がさらに多い場合はコロナ対策の検討も必要 ・入り口に人を設置した場合、そこで消毒もできると良い
設営・ 資機材	良かったこと	
	●当日の設営や飾り付け作業がスムーズだった ・当日の設営・飾り付けなどがスムーズにできた ●発電機の音でイベントをやっている雰囲気が出た ・発電機の音がイベント感を盛り上げた（何かをやっていることはわかりやすかった）	
	気になったこと	次回改善できること
	■発電機の音や排気が気になった ・発電機の排気が辛かった ・発電機の音が気になったという声を聞いた	▶発電機の利用は最低限にできると良い ・発電機の利用は必要最低限にして、音を抑えられると良い ▶区役所が関わっていない場合、代わりの人員などが必要 ・設営等で行政職員の動きで助かったが、通常は期待できないので代わりの人が必要 ▶避難場所など、緊急時などを想定しておくことも大事 ・こども文化会館がいざという時の避難場所にしてください
防災コーナー		
	良かったこと	
	●防災は参加者の関心が高かったテーマだった ・地震が多発して関心が高かったので、多くの方が立ち寄ってくれた ●説明を通じて関心が高まり、他地域についても知ることができた ・防災に対する関心が高まった ・会場入り口：防災マップと景品、説明者がいたこと。自分の地域だけではなく、他も知ることができた ・説明者が素晴らしかった ●区役所による防災グッズの配布で、人を呼び込みやすかった ・防災用品の配布がよかった ・配布する土産があったので、呼び込みしやすかった ・区が関わることで、町会・防災に対して市のグッズの提供があった	

	気になったこと	次回改善できること
	■配布グッズが余ってしまった ・宣伝が足りなかったのか、防災用品がもらえる宣伝が足りず、配布するものが余っていたのがもったいなかった（関係者に配布することに） ■混雑していたときは説明・情報を受けることができなかったのがもったいなかった ・自宅にシールを貼るということがだったが、防災情報も伝えることもしては。避難場所や給水所の場所など ・人が多くて忙しい時はグッズをもらうだけになってしまったので、情報も得られると良い	▶コーナーで配布していることについて、開催中に周知できると良い
町内会コーナー		
	良かったこと	
	●町内会の方々のビブス着用がわかりやすく、安心感につながった ・町会のビブスを着ている人がいることで安心感につながった ●大人向けの町内会・自治会の情報（ポスター）と子ども向けのマスコットや飾りが交互に飾られていることが効果的だった ・入り口で町会の案内板とマスコットが交互に並んでいること。子どもが止まって、大人が読むという良い循環 ●町内会の紹介資料があったことがよかった ・パンフレット、絵本（町会案内）が置いてあったのが良かった	
	気になったこと	次回改善できること
	■町会長もっと交流できると良かった ・町内会長がいらしたのがよかったが、もっと交流があればよかった	
マルシェ・販売		
	良かったこと	
	●お店番の体験が初めてできた ・初めての経験ができた（店番や販売） ●出店物の情報も展示されていて、関心を高めることができた ・出店物への関心を高められた ・販売・展示と同時に名刺や詳細があったこと ●出店までの流れがスムーズだった〔出店者より〕 ・準備も全てやっていただいて、すんなりお店を開けたのがありがたかった	

	気になったこと ■お店番の間、代わりに説明するのが難しかった ・店主がいない店で店番をしている時に、商品やお店の説明は難しかった ■販売エリアが寒かった ・運営側が日陰にいと寒かった ・ストーンのタイミングと場所 ■時間が短く感じた [出店者より] ・普段は 10 時～15 時くらいで販売 ・意外とあっという間に終わってしまった	次回改善できること ▶出店者同士がそれぞれのお店について情報を共有し、お店番の連携ができると良い ・出店・店番の連携が必要 ・出店者同士の連携（休憩時のお店番）できるようにになると良い ・出店者マニュアル ・出店する人はストアカード（連絡先）、小袋の準備、釣り銭 ▶寒さ対策を検討する ・ストーンの配置 ▶その地域の参加者層に合わせて出店物を考えられると良い ・小学生女子の購買力が高く、もっと選んで帰るものをたくさん出してあげられると良い ▶チラシの写真を出店者にも共有し、周知を協力してもらおう [出店者より] ・出店者のつながり（ママ友ネットワークなど）を通じて、イベントを紹介できる ・チラシのデータじゃなくても、写した写真で全然 OK ・地元の酒屋さんや個店などに協力してもらえそう（宮崎台駅近くの）
読み聞かせ		
	良かったこと ●読み聞かせは子どもも大人も喜んでいた ・読み聞かせがよかった ・喜んでいる子どもをみて大人が幸せそうなのが新鮮だった ●始める前に注目を集める行動が良かった ・スタート時に砂を払う行為をすることでみんなが注目して寄ってきた ●クッションシートや広さが良かった ・読み聞かせのクッションシートがよかった。広さ・まとまり	
	気になったこと ■発電機の音で声が聞こえづらかった ・発電機の音が気の毒だった ■全体アナウンスは届いていなかった ・個々に声かけするのは良いが、叫んで呼ぶのは聞こえていなかった	次回改善できること ▶読み聞かせや開始時のアナウンスが聞こえるようにマイクや拡声機を使う ・マイクのようなものの準備が必要だった。聞こえない子もいたと思う ・スタート時は拡声機などで告知した方がよい ▶読み聞かせ以外の時間に子どもが関われるアクティビティができると良い ・子どもも関われる紙芝居ごっこができると良い

ライブラリー		
	良かったこと	
	●会場でのライブラリーの位置がよかった ・位置が良かった	
	気になったこと	次回改善できること
	■ライブラリーの使い方が説明なしではわかりづかった ・説明がないとわからない人もいたので、説明があった方がよい	▶本の循環を生むために、事前に周知して本の持参を呼び掛けられるとよい ・本を持ってくる人もいると良いので、告知を事前にできるとよい
まちの情報（花の写真やパンフレット）		
	良かったこと	
	—	
	気になったこと	次回改善できること
	—	▶掲載できる情報の幅が広がるとよい ・PR・チラシ・動画・パネルコーナー ▶別町会との交流コーナー（情報コーナー）があるとよい〔再掲〕 ・イベントを主催している町会のエリア内に住んでいない場合、他の町会についても案内を受けられるとよい（町会加入や繋がりに貢献）
装飾		
	良かったこと	
	●ツリーや会場全体の飾り付に子どもが喜んでた ・飾り付けがとても良かった ・入り口付近の装飾が人を呼び込めた ・みんなのツリー：子どもたちがとても喜んでた	
	気になったこと	次回改善できること
	■ツリーが目立たない場所に置いてあり残念だった ・みんなのクリスマスツリーは子ども達がとても喜んでいて良かったが、あまり目立つ場所になくて残念だった	▶ツリーの位置をもっと目立たせる ▶飾りを最後まで子どもと一緒にする ・一人につき飾り一つか二つにするなどして、最後まで子どもが飾りをつけられたら良いかも？

(2) 公園活用に関するご意見

●現状の公園活用の申請プロセスは複雑なため、活用しやすくするための仕組みが必要。

宮前区ソーシャルデザインセンターのお墨付きがついた活動は使いやすくなると良い

- ・ソーシャルデザインセンターを通じて、公園を活用できるしくみがあると良い。例えば、ソーシャルデザインセンターのお墨付きがついた取組やプロジェクト（「宮前区まちのひろば参加団体」など）であれば公園が活用できるなどの仕組みをつくる必要がある。現状の手続きはとても大変なプロセスなので、活用が進まない。
- ・冒険遊び場は区の事業として実施しているので、申請すれば道具の貸し出しや火の利用が可能になるなどができる。
- ・飲食の取扱時は保健所への登録など、最低限の条件や手続きのクリアをした上で、お墨付きがあると良い。

●担い手不足の解消のために、公園活用時に管理も条件にすると良いのではないか

- ・町内会・自治会や公園管理運営協議会以外の組織が活用したい場合、清掃などの公園管理作業の実施を条件に活用できるようにしてはどうか。
- ・ただ活用して利用者／消費者になるだけでなく、管理／運営にも関わってもらえると、管理しながら活用も進むのではないか。

●公園を活用するには様々な主体と連携して巻き込んでいく必要がある。ノウハウや人材をつなぎ、活用を後押しすることが、宮前区ソーシャルデザインセンターの役割なのではないか

- ・今回の公園マルシェに関わって感じたことは、実際に公園を活用するとなったら、地域の様々な個人や主体と協力・連携して活用していく必要があるということ。辻さんのように、公園の活用に向けて様々な人や主体と連携して巻き込んで活路を見出していったその行動自体が、地域を豊かにしてつながりづくりにもなったのではないかと感じた。
- ・活用を推進するための仕組みをつくることも大事だが、作り込むことが目的ではない。
- ・活用するにあたって、様々な人を巻き込んでいく必要性やそのためのノウハウなどが事前にわかると良いのではないか。
- ・公共空間の活用に向けてどのように活路を見出すかを話し合う場を設けることなども、ソーシャルデザインセンターが果たせる役割なのではないか。ノウハウや人をつないで、活用を手助けする。

●公園活用においては、公園管理者も宮前区ソーシャルデザインセンターやラウンドテーブルの場に参加していると良い

- ・公園の活用を推進するために、公園管理者もソーシャルデザインセンターやラウンドテーブルの仲間に入れてはどうか。

(3) しきみづくりについて（辻さんより）

- ・様々な人が出会える地域づくりをするために、常に変化に対応できるように、地域のことを敏感に捉えるプラットフォーマーが地域には必要。そのための場と人が必要。継続的な場が大切。
- ・プラットフォーマーの担い手として、地域を知ろうという思い、先進事例にアンテナを張っていること、地域の人の話をしっかりと聞くことなどの姿勢が大事